

事務事業名		鹿の森公園管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	015 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実				01	06	02	05	00
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H4 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	農林水産部農林課				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	課長名	菅原 博幸								
	係名	林業係	電話						27-3111	
	担当者	大和田達也	内線	337						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
・鹿の森公園は、温浴施設、宿泊施設を備え、保健休養、森林愛護を目的に整備された施設であり、指定管理者との委託契約を基に、訪れる市民や県内外からの観光客が施設を快適に利用できるよう、管理運営する事業。 ・主な業務内容 ①指定管理者の公募と委託契約の締結 ②施設の管理運営、及び利用状況の調査 ③指定管理者との運営協議、及び要望調査						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金		
							財源内訳	都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
						人件費	事業費計(A)	0		
							正規職員従事人数			
							延べ業務時間			
							人件費計(B)	0		
							トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・指定管理者との年度協定の締結。 ・公園内に設置されている遊具の点検、整備。		ア	鹿の森公園施設修繕件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	営業日数(遊・you・亭夏虫)
・指定管理者との年度協定の締結。 ・給湯施設の改修、屋根(雨漏り)の修繕。 ・公園内に設置されている遊具の点検、整備。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・鹿の森公園の施設 ・鹿の森公園利用者(市民、観光客)		名称	
		単位	
		カ	維持管理施設数
		キ	年間利用計画者数(市民等)
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・訪れる市民、及び観光客に安全で快適な保養を提供する。 ・施設を円滑に管理運営する。		名称	
		単位	
		サ	年間利用計画達成率(延べ利用者数/利用計画者数)
		シ	年間利用者数(遊・you・亭夏虫、お湯っこ)
		ス	開業後の延べ利用者数(遊・you・亭夏虫、夏虫のお湯っこ)
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・来客数が増加し、結果、指定管理者の収益が増加する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,061	5,197	4,889	9,180	11,387	12,768
		事業費計(A)	千円	6,061	5,197	4,889	9,180	11,387	12,768
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100
		人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	6,461	5,643	5,289	9,580	11,787	11,400
⑤ 活動指標	ア	件	5	5	3	3	1	5	
	イ	日	365	365	365	365	365	291	
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	箇所	4	4	4	4	4	4	
	キ	人	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	
	ク								
⑦ 成果指標	サ	%	78.5	73.1	69.4	63.3	66.7	56.8	
	シ	人	60,459	56,314	53,448	48,776	51,369	43,710	
	ス	人	1,395,885	1,452,199	1,505,647	1,554,423	1,605,792	1,649,502	

事務事業ID	0575	事務事業名	鹿の森公園管理運営事業
--------	------	-------	-------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の保健休養、森林愛護及び環境保全意識の醸成、自然とその資源をいかしたまちづくりを推進するため「緑と鹿のふれあい広場(バーベキューハウス)」「ふるさとふれあい公園」「森林総合利用施設(遊・you・亭夏虫)」の3つの施設を包括して平成4年4月から運営を開始した。</li> <li>平成8年10月に「森林体験交流センター施設(夏虫のお湯っこ)」の運営を開始した。</li> </ul>
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興需要の落ち着き、消費税の増税、新型コロナウイルス感染症拡大などに伴い、来訪者が減少した。</li> <li>開業から19年以上経過しており、施設の内外装に老朽化が見られる。</li> <li>新型コロナ感染拡大防止対策に伴う影響がある。</li> </ul>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴い、適切な維持管理が求められている。</li> </ul>

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ ・市の所有施設であり、指定管理者との協議の基に、施設修繕を計画的に行うことで、利用者に快適な保養を提供できる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	・市の所有施設であり、老朽化によって修繕の必要な箇所が年々増加傾向にあり、市民や当市を訪れる観光客の憩いの場として、安心、安全であるための施設維持が必要なことから、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	・復興需要の落ち着きや市内への同種施設の増加などによって、利用者が減少することが見込まれることから、指定管理者との協議のもとに施設近郊での体験型観光との連携等による運営改善を推進する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	・施設利用者の海、山の観光等、送迎を兼ねた案内をすることで、利用者の増加が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	・市の観光客が減少し、市内全体の収益の減少にも繋がる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	・施設の老朽化に伴い、利用者の安全を確保するためにも修繕費が増すものと思われる、事業費の削減はできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	・施設維持に関し、指定管理者との協議、予算化、契約等、業務が密接なことから時間の削減はできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	・指定管理者の選定にあたっては、公募制を採用していることから、公平である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
対象・意図の見直しによる成果向上に取り組みながら、現状の経営を維持できるよう継続して事業を実施する。																			

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	当面継続して事業を実施するが、利用状況(収支バランス)によっては、管理委託の内容を検討する必要がある。